



### <来週の資金需給予想とイベント予定>

(単位: 億円)

日付	資金需給予想			主な要因	オペ期日	オペスタート	イベント
	銀行券要因	財政等要因	資金過不足				
12/11 (月)	▲ 1,000	▲ 13,300	▲ 14,300	国庫短期証券発行・償還 (3M・6M)	国債補完供給 + 37,200 国債買入 + 14,800		
12/12 (火)	▲ 2,000	+ 5,000	+ 3,000			CP等買入 + 4,000	米: CPI (11月) FOMC (1日目)
12/13 (水)	▲ 2,000	▲ 19,000	▲ 21,000	国債発行 (5年) 源泉税揚げ			日: 短観 (4Q) 米: PPI (11月) FOMC (2日目)
12/14 (木)	▲ 3,000	+ 4,000	+ 1,000				米: 小売売上高 (11月)
12/15 (金)	▲ 2,000	+ 65,000	+ 63,000	国債発行 (20年・個人) 国債償還 (個人) 年金定時払い	貸出増加支援 + 20,600		米: 鉱工業生産 (11月) PMI (12月) 欧: PMI (12月)

### <インターバンク>

日銀当座預金残高は週初、前営業日対比8兆円減少の531兆3,600億円から始まった。その後、同残高は5日に国債買入を主因に1兆4,400億円上昇したが、6日には国債発行等要因により2兆9,500億円減少し、529兆5,900億円で越過した。無担保コールON物加重平均金利は週初、▲0.013%から始まり、6日には▲0.010%まで上昇した。その後は横ばい圏で推移し、8日には週末要因から資金調達ニーズが強まり、▲0.010% (速報) となった。ターム物は1~3W物を中心に▲0.03%から千分の台で取引された。来週の予定としては、国内では、13日に短観(4Q)の公表、海外では12日と13日にFOMCが開催される。

### [無担保コールレート]

	予想レンジ (%)
O/N	▲0.087 ~ 0.001
1M	▲0.060 ~ 0.010
2M	▲0.040 ~ 0.050
3M	0.000 ~ 0.130
6M	0.000 ~ 0.150

### <レポ>

足許GCは週を通して▲0.10%~▲0.08%のレンジで推移した。短国の発行が重なった8日でも水準に変化は見られなかった。SC取引は2年438~455回債、5年149~163回債、10年350~372回債、20年180~186回債、30年65~80回債、40年13~16回債などに引合いが多く見られた。

### [オープン市場]

	予想レンジ (%)
現先 (on/1w)	▲0.050 ~ 0.000
CP 3M	0.000 ~ 0.050

### <CP>

今週の入札発行総額は約1兆2,500億円で、週間償還額(約7,100億円)を上回った。発行市場は、機械や不動産、卸売業等の複数業態にて大型案件が実施され、活況なマーケットとなった。発行残高は前週末の27兆6,825億円から7日時点で28兆2,788億円と増加した。発行レートは概ね0%近辺から一部の銘柄においてはベース台での出会いも見られた。7日にCP等買入オペが予定通り4,000億円でオフアされた。結果は、按分レート0.001% (前回0.000%)、平均落札レート0.005% (前回0.027%) と按分レートが前回比で上昇した。来週の週間償還額は、約1兆1,600億円となっている。発行市場は、年末に向けた資金需要や5・10日絡みの発行が見込まれ、活況なマーケットとなると思われる。発行レートは、金融政策修正の警戒感等から3か月超の案件についてはレート水準が切り上がる展開も予想される。

### <TDB>

7日の6M (1199回債) の入札は、最高落札利回り▲0.1282% (前回債▲0.1502%)、平均落札利回り▲0.1402% (前回債▲0.1623%) となった。8日の3M (1200回債) の入札は、最高落札利回り▲0.1433% (前回債▲0.1507%)、平均落札利回り▲0.1556% (前回債▲0.1656%) となった。来週は15日に3Mの入札が予定されている。